

越前町小中学校の再編についての地区懇談会 結果概要（萩野小学校区）

- 開催日：令和4年7月20日（水）午後7時2分～8時4分
- 場 所：織田コミュニティセンター
- 参加者：保護者6名 一般住民12名 合計18名
- 内 容：小中学校の再編についての意見交換

主な意見と回答

（参加者）学校再編の状況がわからないので参加した。学校を残して欲しいという思いもあり、残していくことが大変であることなど詳しい情報を教えて欲しい。

⇒（教委）これまでの経緯として、町民アンケートを行い、約9割の方から小規模校については再編を検討して欲しいとの結果が出た。教育環境検討委員会を立ち上げ、町内小中学校の教育環境を検討し、複式学級を解消していくことが必要であることなどを含めた提言書をいただいた。学校にかかる費用の問題だけで再編を考えているわけではなく、友達の多い賑やかな学校にしたい思いであり、萩野小学校と織田小学校を一緒にできないかとの案を作り、昨年説明会を開催させていただいた。

（参加者）跡地活用がいつからなされるのか明らかになっていない。今からでも検討を始めるべきではないか。

⇒（教委）再編の理解が進めば、スケジュールを決定し検討委員会を開始したい。閉校した学校が空き家の状態であるのは望ましくないと考えている。

⇒（参加者）跡地検討についてぼんやりしているので、書き方として明確にできないのか。

⇒（教委）再編準備委員会が立ち上がり次第検討に入りたい。区長をはじめ関係者には負担をかけるがよろしく願いたい。

（参加者）跡地活用については、なかなか良い案が出るものではなく難しいと思う。一つの意見として、不登校の子どもなどを集め学校跡地を学校として活用することはどうか。学校であるということで、地域の活性化に繋がるのではないか。

⇒（教委）不登校の児童生徒が全国的にも増加していることで、不登校に対応した学校の設置について国が検討を始めている。越前町がこれを受けるという訳ではないが一つの検討材料としたい。

（参加者）孫の親たちの話題の中心は学校再編についてである。体育の授業などで団体競技ができる環境になるよう望んでいる。祖父母としても多様な考えに触れ、競争心を燃やしながらすくすく育て欲しいと強く望んでいる。

⇒（教委）学校教育の環境づくりを行うことが町・教育委員会の役割である。理解を頂ければ準備を進めさせて頂きたい。

(参加者) 最終的にどのように再編が決定するのか確認したい。

⇒ (教委) 今日のような懇談会の内容を報告し、最終的に町長が決定する。

⇒ (参加者) 住民投票などで賛否をとるなど、住民の意見が反映されるものなのか。

⇒ (教委) 他の小学校区でも懇談会を開催し、意見がまとまり次第、再編方針をホームページなどで公表する。その上で、町民からの意見聴取としてパブリックコメントを行いたい。

⇒ (参加者) パブリックコメントで決定するのか。

⇒ (教委) パブリックコメントでの意見をまとめ、町長が判断し決定することになる。

(参加者) 中学校の再編については前倒しが検討されているようだが、小学校の再編時期については保護者の理解も概ねあるようなので、前倒しなど変更はして欲しくない。また、再編により先生の数が削減されると思うが、教育現場の力が衰えることのないようお願いしたい。

⇒ (教委) 近年、教職員の志望者が減り、質の確保も難しい中ではあるが、講師の先生も含め県にお願いしながら努力していきたい。

(参加者) 再編後の子どもたちについて、しっかり学校生活が送れると信じて背中を押してあげたい。

また、はぎの児童クラブについては、保護者の負担も含め引き続き利用を検討して欲しい。

⇒ (教委) 下校後のはぎの児童クラブについては、今までどおり利用できるようスクールバスなどで対応していきたい。

(参加者) 跡地利用検討は同時に進め、住民の不安がないようにして欲しい。

⇒ (教委) 再編準備委員会と並行して検討を始めたい。皆さんのお知恵をお借りしながら進めていきたい。

(参加者) 今日は再編が決定した内容を聞けると思っていた。町として進んでいないように感じる。

⇒ (教委) 前回だけのご了解を得たと考えていなかったのがこのような形となった。今後、具体的な進捗をお示ししながら進めていきたい。